

NEWS RELEASE

2016年4月5日

東洋水産とウェザーマップが共同予測
「冷し中華前線」を今年も発表！
～2016年の冷し中華前線は昨年末に発生した「スーパーエルニーニョ」の影響で昨年より5日早く本州へ到達～

東洋水産株式会社（本社：東京、社長：今村将也）では昨年に引き続き、気象会社である株式会社ウェザーマップ（本社：東京、代表取締役：森田正光）と共同で、全国の今年の冷し中華の始め時を「冷し中華前線」として発表致します。

「冷し中華前線」、昨年よりも勢いを増して一気に北上

今年の「冷し中華前線」の形状は昨年と似ていますが、冷し中華の食べ始めとなる前線到達の時期に違いが見られます。まず昨年は鹿児島が4月1日だったのに比べ、今年は4月7日と予測しており、少し遅くなっています。また、本州への到達はそれに対して早くなっており、2015年は4月19日の東京を皮切りにしていましたが、2016年は名古屋へ4月15日に上陸、その後東京(4月19日)・大阪(4月24日)・広島(4月25日)・新潟(5月8日)・仙台(5月20日)と移り変わっていく模様です。本州以外の地方では、九州・福岡に4月23日、北海道・札幌へは6月2日にそれぞれ前線が到達すると予報されています。

ウェザーマップ所属の気象予報士である久保井朝美氏によると、「『スーパーエルニーニョ』により、昨年からの暖冬の流れを汲んでこの春も全国的に高温を維持すると予想されるため、冷し中華前線は昨年に比べると、多くの地域でスタートが1週間程度早く、西日本から東日本の太平洋側ではゴールデンウィークに入る頃には冷し中華の食べ頃を迎える見込みです。特に西日本の夏は、蒸し暑い気候になりそうですので、さっぱりとした冷し中華がよりおいしく感じられそうです。」とのことで、一般的には真夏に食べるイメージが強い冷し中華ですが、5月の連休前からご家庭でお楽しみいただくことをおすすめしています。

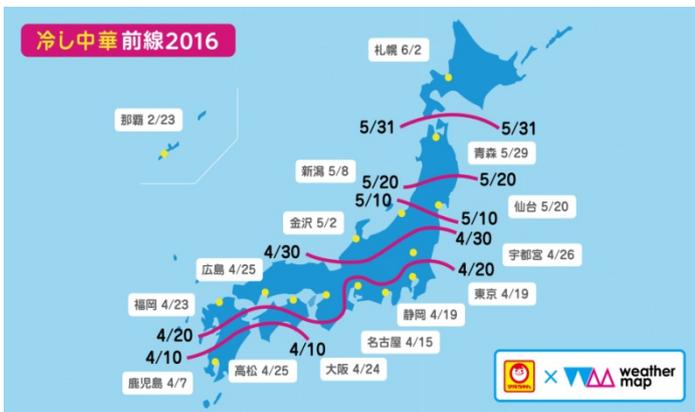


Table with 4 columns: City, Date, City, Date. Title: 冷し中華前線(冷し中華始め時)

## ■「冷し中華前線」とは

1日の最高気温が25℃以上の一般的に「夏日」と言われる日より前から、冷し中華が売れ始めることに着目し、気象状況と冷し中華商品の売れ行きの相関関係について、東洋水産とウェザーマップにて分析・議論を重ねました。消費の観点から主要都市における冷し中華商品の購買動向と、気象の観点から気温や相対湿度、風速データなどの相関性を分析した結果、1日の最高気温が7日平均で20℃を超えてくるタイミングを「冷し中華の始め時」として設定したものです。